



September

おかむら通信 245 号

令和 7 年 9 月号



🍷 ご挨拶

院長にとって暑い中、韓国行きはさすがに疲れました。体力低下・全身倦怠・微熱・食欲低下。体重減少、、、まるでコロナ後遺症のような症状です。おそらく免疫力低下をきたしたのだと思います。いまは徐々に回復しつつあり、外来もしっかりできるようになりました。さて皆様、おそらく9月いっぱいまでつづく危険な気温の上昇に留意してください。

脱水症、熱中症にとくに気を付けてください。

やっぱり行ってよかった、海外に出て、他国の方々とお会いし、交流ができるのは、ありがたいですね。十分な理解や共感はなくとも、そこに存在するだけでもいいのです。



🍷 今月の言葉

皆さん、宇宙から俯瞰的に日本を観てください。国外からでもいいです。せまい自分の考えやものの見方が変わるかもしれません。

🍷 院長より A

「GPとは、general practice とは、総合診療とは？」

自分の専門分野に加えるのにこのGPの技を、私は海外に行って世界の医師たちから総合診療医の技を習得しました。TV番組「19番目のカルテ」をご覧になる方がいっぱいいらして、電話でのお問い合わせや、外来での質問をいただきます。実際、たくさんの疾患・病態をもたれていて、いくつもの病院にかかっている方に、なかなか自分の病気について納得がいかない、どうしたらいいのだろう、と聞かれます。私は患者さんが診察室の扉をあけて入って来た時に、患者さんの持つ複数の病態を予感します。

海外でのGPの考え方は定着しつつありますが、各国で幾分違いがあります。日本では病気あてクイズのようです。

TVでも誤解している（私の私見ですが）と思うのは、GPだけで患者さんを診るのではないのです。

医師の理想は自分の専門科 + GPなのです。

例えば小児科医+GP、整形外科医+GP、産婦人科医+GP、神経内科医+GPなのです。





松戸では 何人かいらっしゃいますが、ある有名な個人の神経内科の院長は 神経内科+GPです。ご自分で 英国で(5年くらいかな)勉強されてきています。いかに自分の専門性を活かすのに総合医診療学の技が役立つかご存じなのです。

院長より B

- ① 人間とは何か? などたまには哲学的な思考をしてみましょう。美術、音楽もカナダの家庭医のドクターは日頃から親しまれていました。
- ② 私が人生の根幹を、医療の本すじを、各大学混合のせめぎ合いの中で、教えてもらったのは、「都立墨東病院」の中でした。素晴らしい武者修行でした。アメリカから帰ってきた麻酔科のボス、 茅 先生、そして倉持 先生からでした。とってもラッキーでした。
- ③ あえて、順天堂の枠の中の環境から、一步自分を外へ出したことで生まれたことでした。そこから、総合診療的なものの考えが私の中で生まれました。しかも病気とは静かなるものではなく、朝に夕に時間的に動的なものであると。そして素早い診断、診療こそが最高の医療を患者さんに提供できるというイメージが、私の中でできあがってきました。



院長の8月の院内外 活動報告

7/28(月) 右上肢から右側頭頂部の帯状疱疹ヘルペス発症 免疫力低下のあかし。
一時化学療法 中止。その後きわめて体調不良。

8/2(土) デンタルクリニック受診 / 日暮町会盆踊り待機医 夜間

/3(日) 松戸市在宅当番医 9時から17時まで 院内

/5(火) 院長の採血とCT検査(術後経過確認のため)、しかし腫瘍マーカー急上昇、
血糖値急上昇 にてその後、化学療法再開、フルドースにて

~10(日) から /17(日) まで 当院の 夏休み ~

/18(月) 院内カンファレンス(4年半ぶり) / 画像装置、点検

/28(木) ST 病院消化器外科I先生に受診、今後の治療方針 検討

/30(土) デンタルクリニック受診、/ レセプト作業 夜間

/31(日) レセプト作業 昼



ご自分を大切に、守りながら、毎日毎日の生活を大事にいい人たちとつながりをもって生きてゆきましょう、大変な世界の状況、日本もそうですが、皆様、いまはご自分を大切にしてください。



この時期の楽しみは 近くのお寺の彼岸花です。
開花は 今月中旬と思いますが、赤・白・黄・ピンクの
花が咲き とてもきれいです。今年も楽しみです。古谷